

なんたんの種

なんたんの種が一粒^{ひとつぶ}地に落ちた
虫めがねでやっと見えるほどの
小さな存在^{いのち}

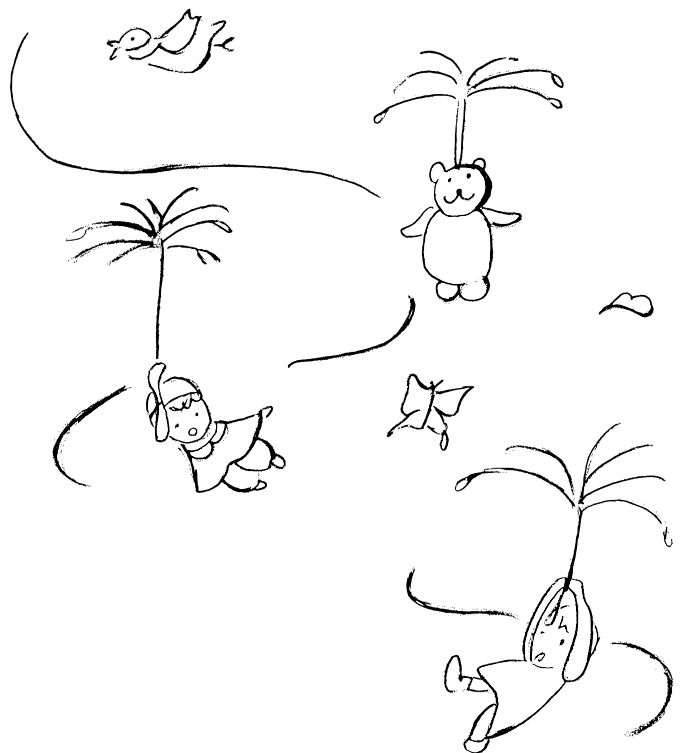
ことばの種は芽ぶいて
小さな花を咲かせた
ひとつ ふたつ みっつ

なんたんの種がもう一粒地に落ちた
ことばの種は合わせ鏡
嘆きの声も 喜びの声も
関わりの中で融け合って
小さな花は実になった
ひやく せん まん

なんたんの種がなんざんの地に落ちた
ハンドベル^{こだま}が訝する
一つの音が 一つの声が いくつもの声が響き合って
——ことばの種は万華鏡^{カライダスコープ} [美しい形が視えてくる]
小さな存在^{いのち}のひとつの花は
虫 鳥 樹々と響き合い
大交響曲となるでしょう

なんざんの種^{こころ} なんたんの種 ——

HOMINIS DIGNITATI —— <Small is Beautiful>



Aiyoshi

(中野清先生 作)

山口真人先生を偲んで

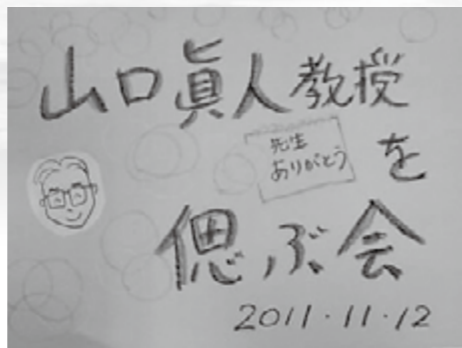
2011年11月1日、私達の恩師である山口真人先生（南山大学人文学部心理人間学科教授）が亡くなりました。その1週間前まで大学でゼミを担当されており、突然の訃報に皆大変驚きました。

グラバア俊子先生の発案で、11月12日（土）午後、南山大学D51教室で、偲ぶ会が開かれ、大学関係者、学生、卒業生など180名以上の参加がありました。

楠本和彦先生の司会で会は始まり、グラバア俊子先生のお祈りの後、奥様の理恵さんと杉山郁子さん（6期）が思い出を話されました。絨毯敷きの教室では涙ぐむ人達の姿も見られ、先生が私達にたくさんの思い出を下されたことを肌で感じます。会の中盤で、4人グループで3回に分けて「先生から受け取ったもの・先生に伝えたい言葉」についてわかち合い、各々シールに書き込みました。

その後、先生が講演された『Tグループと私』『愛の侵略 マザーテレサとシスターたち』のビデオを見ました。特に、Tグループについて思いをこめて語られる姿は印象的です。最後に、全員分のシールを印刷した小冊子をいただき、会は終了しました。

「偲ぶ会」では、たくさんの人達がお手伝いに駆けつけました。特に、短時間で小冊子を作って下さった心理人間学科スタッフにお礼申し上げます。



グラバア俊子先生より

山口真人さんは、人関3期から着任されました。その前年に枳中の人間関係科を訪問して下さったのが彼との最初の出会いでした。当時専任の先生方は50代、60代が多く、20代は私一人でした。1歳年上で、当時すでに一児の父であった山口さんは、私にとってお兄さんができたようで嬉しかったものです。大学院の博士課程を卒業したばかりの、バリバリの研究者であった彼は、初めの頃は人関の教育にずい分ハッキリと異議を唱えていたそうです。残念ながら私は3期生の夏から留学してしまったので、そうした彼の姿は見ていません。帰って来た時には、もうすっかり体験学習♡人関いのち♡の山口さんになっていました。そこには深い葛藤、大きな転換があったのだと思います。ですから、その頃からアピールされた「教育の冒険」「Change Agent」等という人関スピリットは彼にとっても大切なものだったと思います。だからこそ、2000年の改組では、新しい枠組みの中で人関スピリットを守るために心血を注いで下さったのだと思います。

また、山口さんは時間やエネルギーを惜しまず、人をサポートする人でした。私も第一子の出産後、慣れていない上、夫はほとんど米国ということで必死でした。そういう時に家まで来て、お風呂に入れた息子を受け取ってもらい、本当に助かりました。

「名古屋いのちの電話」「チャイルドライン」等、多くのサポート団体に関わり、その援助活動にも時間を割いていました。

また、彼はビューティフル・スピーカーだったので、その名レクチャーの数々を、録音を起こすという形でもいいので記録として残せなかったのが本当に残念です。

杉山(中野)郁子さんより (6期)

山口真人先生の存在

あの笑顔に初めて出会ったのは1978年4月のことだから、すでに34年近くなる。初対面の時に私がどんな印象を持ったかは覚えていない。その後の思い出が多すぎるせいか、それとも真人先生の他にも印象的なことが多かったせいかは分からない。でもその時から真人先生は私の中で大きな存在として生き続けていることは間違いない。

思い出話は沢山ある。ここで一つひとつは挙げないが、どれもが真人先生の好奇心の強さや人への関心や尊敬の気持ち、それに何でも楽しんでやろうという前向きな姿勢を表わしているものだと思う。こう書くと全て素晴らしいことのように思えるかもしれないが、こういう人の傍にいるのもなかなか大変なもので、たまに被害(?)を被った人は私だけではないだろう。

真人先生が亡くなった後に、ほんの少しだが先生のお子さん達とお話をする機会を得た。私のことを覚えていて下さって、「長い間お世話になりました」と丁寧に挨拶をいただいた時、とっさに私の口から出た言葉は「お父様に、本当に大切にしてくださいました」だった。真人先生から学ばせてもらった多くのことの中でも“人を大切にすること”は、身をもって教えてもらったことだと思う。教えられたという怒るかも知れないので、実感させてもらったと言ってもいい。私は中学から南山で“人間の尊厳”という言葉はずっと聞いてきたが、この言葉の持つ意味を今実感できているのは、メリット先生と真人先生の存在があったからだと思う。そしてそういう人は、これまた多くいるのではないかと考えている。

真人先生、今はメリット先生と何を語り合っていますか？



収入	会費収入 (@500 × 156)	78,000
	花代 余剰金	400
	郵送費 余剰金	85
	合計 A	78,485
支出	印刷紙・タックタイトル	3,102
	雑 貨	4,565
	カラーコピー	3,200
	〃	3,620
	〃	50
	〃	130
	お菓子、お茶など	8,787
	み かん	11,300
	カラーコピー追加	3,200
〃	500	
敷物クリーニング代	3,000	
	合計 B	41,454
残額	残金 (A-B)	37,031
	*上記残金はグラバア先生の責任の元、全額東日本大震災の支援に使わせていただきました。	

「第2回ニンカン読書会」

「星の王子さま」を 読もう!

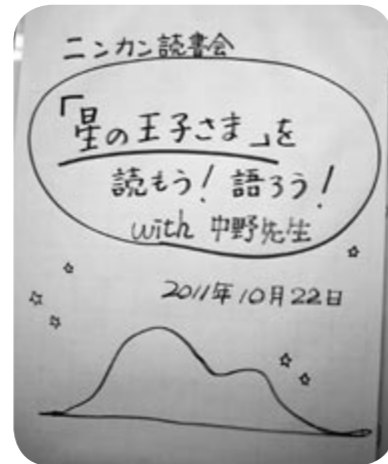
今回の読書会は、津村先生が主宰されている原のHCCにておこなわれました。当日会場で私たちを出迎えてくれたのは、なんと「ゾウを呑み込んだウワバミ」!! 思いがけない粋なはからいに参加者一同、気持ちグッと高まったのは言うまでもなく、そして「星の王子さま」の謎めいた世界へみんなを誘う、有効な演出となりました。

「星の王子さま」は名著と謳われながらも、その独特な内容は理解しがたいもの。今回の参加者の方々も、何度も読み返しているという熱心なファンというよりも、「読んでみたけれどわからない」「いい本だと言われているので興味があった」という動機の方がほとんどでした。

内容を紐解いていくというよりも印象を分かち合うことから始めていくうちに、一般的に出回っている王子さまの純粋性、そして大人社会への批判というよりも、その批判対象である様々なエピソードを自分たちの現実に照らし合わせていく、といった新たな見解、さらに、中野先生から原語であるフランス語での言い回しや物語としてではなく、戯曲として見た場合での解釈といった新たな視点の提案もありました。

「おとなははじめはこどもだった……」という有名な言い回しからは大人社会への批判が読み取れます

10/22、原にあるHCC（ヒューマン・コラボレーション・センター）にてニンカン・ネット読書会を行いました。今回取り上げた本はサン・デグジュペリ著「星の王子さま」です。当日は中野清先生をお招きし、16名の参加者と共に活発な意見が交わされました。



が、今回行き着いたのは著者であるサン・デグジュペリが自分と恋人をそれぞれ王子さまと1本のバラの花になぞらえた愛の物語であること、そして、いまひとつ府に落ちない結末には、フランス人特有の何事にもオチをつけないという特性が含まれているのではないかと、といった一般論にはない新たな見解が生まれ、活発な意見が交わされました。

名著という肩書きに振り回されることなく、自分自身の感性でその世界観を味わうことこそが読書の楽しみであると同時にすばらしさであることが、参加者ひとりひとりの気づきとなった読書会になったのではないかと思います。



参加者の『こえ』

・本も持参せず、内容もほとんど知らずとびこんでしまいましたが、みなさんのやり取りを聞いているだけで十分楽しめたし、中野先生の解釈?説明?のおかげで、私なりに理解を深めることができましたと思います。

1~27期までのニンカン生の集いに初参加して、肩の力を抜いて楽しむことができ、本当に良かったと思います。

みなさんの読書経験に驚きつつ、私も少しは「読む時間」(特に今は子供といっしょに本を読む時間)を生活に取り入れたいなと思いました。(20期)

・色々な期の方々と分かち合うことで、「星の王子さま」も違った角度で深められた気がします。子どもの頃の気持ちを忘れていたにも気が付いたし、大人の考えや気持ちも今は主になっているのにも気が付きました。それがいいも悪いもなく、自由に話し合えた読書会がこちよかったです。

フランスの文学は国民性から落ちがなくつかみどころがない、そしてそれはそれでよいということを知り、この本の難しさにも納得したらスッキリしました。背景がわかるというのは本を理解する上でとても大切で役立つんだなぁと改めて感じました。これからも本を読んで色々な方と分かち合える機会があったらいいなと思いました。(27期)

・「星の王子さま」はとてもピュアで感性的なお話、しかも一般的にとて人気のある話…なのに私にもどうしてもふに落ちない、納得いかない、理解できない、という劣等感を持ちつつ、あえて参加してみました。まずは他の方もやっぱり分からない、すべて共感でき

る訳ではないとおっしゃっていたことに安心しました。ピュアなばかりがいいことではない、というご意見には「さすが大人の読書会!」と更に安心感が芽生えました。枝葉末節ばかりでなく、中野先生の全体の構成の解説にもやもやとしたものがすっきりと整理され、ちょっとこの本が好きになりました。これからは「星の王子さま」よく分からないと勇気をだして言えそうです。(15期)

・皆さんの意見がどれもわかりやすかったです。この本はやはりわかりにくい、ストーリー展開がじっくりこない、というのはこれでよかったんだと正直ホッとしました。また、色々な訳の本が出ていて、それぞれにかなり違うというのがわかったので、また時間をみつけて読んでみようと思います。とらわれない心でこれからもまた本を読んでいこうと思いました。いかにもこのプリンスみたいに「子供の心」を持ちつづけるか、という風に自分は思っていました。ここに出てくるおかしな大人としての気持ち、意見、心も自分の中にちゃんとあって、その両方を認めていけるような自分でありたいと思いました。

中野先生にもお会いできて本当に嬉しかったです。(11期)

・みんなに、その人それぞれの「だいたいなもの」があってそれはその人のこれまでの来し方によるものでいいのでは?と思います。それを共感しあえる人と、特別な関係を結んでいくことができるのだと思う。内藤さん訳でしか読んだことがないので、ぜひ他の訳でも読んでみたい、と思いました。(16期)

「ニンカン・ネット×Seeds コラボ企画」のお知らせ

チェンジエージェントとして生きるニンカン卒業生におくる人間関係講座を2012年に開催します。

講座コーディネーター：小原みづほ (23期)

講座担当：グループファシリテーターの会Seeds (代表：杉山郁子 6期)

☆講座の内容など詳細が決まりましたら、ご案内のはがきをお送りします。

グループファシリテーターの会Seeds：<http://gf-seeds.com/>

南山短期大学人間関係科で学んだ卒業生が中心となって2001年12月に結成。現在9名のメンバーがファシリテーション能力を高めるための研鑽を積みながら、ラボラトリー体験学習による人間関係講座を教育機関、生涯学習、NPO、企業など必要とされる場で提供している。

ニンカン・ネットホームページ

2012年3月1日、新装オープン!

http://www.ninkan-net.jp/



Facebook
[ニンカン・ネット]で検索!

Twitter
@ninkan-net

① 住所・氏名などの変更連絡フォーム

お名前やご住所が変わった場合は、こちらからご連絡いただけます。郵送でのご案内をお送りする場合がありますので、是非ご協力ください。

② 卒業生・先生からのおたよりフォーム

ニンカン・ネットは皆さんからのおたよりでできています。お写真もお送りいただけるようになりました。懐かしの「ニンカン写真」も募集中です!

③ ニンカン・ネットへのご意見ご要望フォーム

ご意見・ご要望などを随時、受け付けています。

④ ニンカン・ネットって何?

スタッフ紹介や同窓会の助成要項、活動報告などがあります。

⑤ ニンカン・ネットスタッフのよもやま話

ニンカン・ネットスタッフがよもやま話を語るブログです。

⑥ 卒業生・先生からのおたより

お寄せいただいたおたよりを、スタッフが順次公開しています。セキュリティやスパム対策のため、直接の投稿やコメントなどは出来ませんのでご了承下さい。

⑦ イベント・講演会のご案内

ニンカン・ネットが主催するミニ講座やニンカン・カフェ(集い)、ホームカミングなどの最新情報をお知らせします。お申し込みもこちらからできます。

⑧ 卒業生・先生のHP、ブログなどお知らせフォーム

ご自分や活動しているグループなどのホームページやブログをお持ちの方は是非ご連絡下さい。リンク集に掲載いたします。

⑨ ニンカン・ネット通信バックナンバー

これまでの「ニンカン・ネット通信」をPDFファイルでダウンロードいただけます。今後の通信も、こちらにupします。

⑩ 卒業生・先生のホームページリンク集

皆さんのホームページやブログ、大学関係のサイトをご紹介します。

皆様からのおたよりをお待ちしています!



ニンカン・ネットの一番のコンテンツは「卒業生・先生からのおたより」です! 「こんなことしてます」「一緒に〇〇しませんか?」「おひさしぶりです」などなど・・・今の声をぜひ、お聞かせ下さい。同窓会の報告や、整理したら出てきた～!という当時の写真なども、大歓迎です。

個別にコメントはできないようにしていますので、おたよりにお返事する場合も、「おたより募集フォーム」よりお送り下さい。

もう一度「ニンカン」を体験してみませんか?



講座・イベント共に人間関係だけでなく、英語科卒業生も参加できることをご存知でしたか???

ちなみにこれまでおこなった内容の一部をご紹介します!

◆先生による講座…懐かしのニンカン授業???

- * 星野欣生先生 「人間関係づくりトレーニング」連続講座
- * グラビア俊子先生 「メッセンジャー・ライン」
- * 伊藤雅子先生 「人間で学んだことをどう生かせるか?」
- * 長尾文雄先生 「あなたの「傾聴」再点検!!」など…

◆卒業生が企画するイベント…「ニンカン・ネットサロン」

- * 5期 内山早智子さん、小川川い子さん
「アロマで心地良くハンドトリートメント」
- * 16期 杉田純子さん、英語科 小幡綾子さん
「セルフプロデュース講座~カラーで好印象をプロデュース」
- * ニンカン読書会…「モモ」「星の王子様」など…

今後も講座・サロン共に楽しい企画を予定しています。

みなさんのご参加をお待ちしています☆
また講座のリクエスト・サロンの企画も随時募集しています!!



一緒に「ニンカン・ネット」を作っていきますか?

♪ スタッフ募集中 ♪ ○○○ スタッフからのメッセージ ○○○



ちょうど40歳の年、同期会で伊藤雅子先生がおっしゃった。「40歳、いいわねえ。これからは、あなたたち!!」

眼の前がパ〜ッと開ける感じがした。その瞬間、身も(?)心もすっかり軽くなり、その後再び雅子先生の呼びかけでニンカン・ネットに足を踏み入れた。

「やれる人が、やれる時にやろう。しんどい時は無理しないで」スタッフで決めたこの言葉通りにやらせてもらってきた。この10年余りの私の人生の、ちょうど良い距離にニンカン・ネットがいてくれたように思う。

昨年、南山短期大学が南山大学短期大学部に生まれ変わった。そして今年、ニンカン・ネット通信が幕を閉じる。新たなニンカン・ネットのスタート。これからは新ホームページでよりリアルタイムな情報や、スタッフのよもやま話、卒業生からのおたよりなどを載せていく。講座や趣味の教室、読書会などもやりたい。みなさん、楽しむのは「これからよ!!」一緒にニンカン・ネットしませんか?

(5期 小川川い子)



リニューアルしたホームページは、色目もかわいらしく前より見やすくなりました。「機械音痴のおばさん」に成り下がらぬ様、ツイッターにも挑戦してみようと思います。

(11期 清水みどり)



今回のリニューアルにはデザイナーのタクちゃんこと榎田康代さん(16期)に多大な協力をいただき、とても心強かった〜。リニューアルの一番の目玉は様々な期のスタッフによる「よもやま話」(=ブログ)。

スタッフひとりひとりの日常のひとコマを、入れ替わり立ち替わり語ります♪またフェイスブック・Twitterとも連動できるようにしています!

今までに引き続き同窓会の助成の受付・講座やイベントのご案内も随時アップしていきますのでお見逃しなく!またみなさんからの近況報告も「おたより」にて随時受け付けます。みなさんからの投稿を引き続きお待ちしております。卒業生同士の交流・また情報発信の場として、身近な場になるよう発展させていきたいと思います!!

(16期 杉田純子)

助成金について

これまで奨学助成金制度を設け、頑張っているニンカン卒業生を応援してきましたが、今年度をもって打ち切りとさせていただきます。金銭面での応援はできなくなりますが、頑張っている皆さんの紹介や、心からのエールは今まで通り続けていきます。

尚、一般助成金（同期会補助）については、これまで同様、通信費として10,000円を補助させていただきます。同期会をされるときは是非ご一報を、お待ちしております。問い合わせ先：staff2012@ninkan-net.jp（ホームページにお問い合わせフォームがあります。）

同期会報告

15期
2011年
2/27(日)

平成23年2月27日(日)人関15期生の同期会が開催されました。第一部は木曾路八事店にて会食（30名参加）、その後南短21番教室に移動しての第二部（38名参加）、最後は名駅に繰り出して有志による第三部（13名参加）と豪華三本立ての企画となりました。お忙しい中、第一部には南短同期でもある市瀬先生、第三部には津村先生が駆けつけてくださいました。昨秋のホームカミングデイに参加したメンバー間で「懐かしの21番教室でみんなと思い出をわかちあいたい！」という意見があがっての緊急企画。幹事さんの苦勞とみなさまのご協力の下で、楽しい時間を過ごすことができました。アルバムを見ながらの思い出話に続き、全員輪になって「私は…」で始まる近況報告。みんなしゃ

べるしゃべる…で話は尽きず、わかちあいは2時間近くに及びました（笑）。充実したアラフォー時代を経て、次回には7年後50歳記念同期会で会いましょう！（安藤 順子）



22期
2011年
3/5(土)

2011年3月5日（土曜日）に南山短期大学研究所（ベタニア）にて、人間関係科22期同窓会を行いました。当日は津村先生、山口先生、グラバー先生3名を含む50名以上の参加者を得て、大盛況となりました。

内容は持ち寄りのお菓子をいただきながらの近況報告や先生のお話などで、13時から15時30分に閉会するまで、短い時間でしたが旧交を温めることができました。いったん社会に出て、懐かしい仲間と新たな出会いができた2時間でした。5年後の同窓会を担当するボランティアも決まり、5年後を楽しみに散会いたしました。（伊藤 純子）



5期
2011年
11/12(土)

やっぱり同期会も幹事をやってみると、その日を迎えるまでの「もうすぐだ！」感が違う。11月になり、いよいよだなあって思っていた時、山口先生の訃報の知らせがあった。そして、先生を偲ぶ会が同期会と同じ日になり、偲ぶ会に参加のあと同期会へと足を運んでくれる人たちも…。なんだかこの日のこんな流れに、山口先生がここに一緒にいてくれるような感じがした。

6年ぶりの今回は30名程が集まった。先生は、グラバア先生と津村先生。卒業してからだと32年ぶり。でも不思議なくらいみんなすぐわかる。長い間にはいろいろあるのだろうが、あの頃のまま変わらない。近況報告もつい長くなるけど、聞き入ってしまう。その空間はいつべんに「ニンカン」。ほんの2年間の学生生活だったんだけど、すごく

濃かったんだと改めて感じた。そして、もうひとつ確認したことは50歳をすぎても中身も思いの外、学生の頃と変わってないということだ。次は5年後。中身20歳のままで、またお会いしましょう。（市川 るみ）



アンケート結果と今後の通信について

昨年度発行の「ニンカン・ネット通信10号」で、通信・ホームページについて皆さんにアンケートをさせて頂きました。回答は56通ありました。

2000通余りの中の56通なので、この結果から何か明確な答えを得られた訳ではありませんが、中にはとても熱いエールの言葉や様々な提案を添えて下さる方もあり、とても感謝しております。ありがとうございました。

以下は回答を集計したものです。

回答数	56通		
	知っている	知らない	
ホームページがあることを知っていますか？	39	17	
ホームページを見ることのできる環境にありますか？	56	0	
ホームページを見たことがありますか？	34	22	
紙ベースの通信を希望する場合、郵送料を自己負担でも希望しますか？	希望する	負担なら希望しない	希望しない
	13	13	28

この結果から、ほとんどの家庭でホームページを閲覧できる環境にあると推測できます。

「郵送料負担でも紙ベースの通信を」との嬉しい声もあったのですが、今までの通信の形態は「製作し、大量印刷してこそ」の物なので、例年通りの通信を一部の希望者の分だけを作成しお送りすることは現実的には不可能です。そこで今後は、様々な情報をリニューアルしたホームページを活用して発信していくつもりです。各種情報や年間の講座等活動をまとめた通信様の物も作り、ホームページで閲覧できるようにします。各ご家庭でプリントアウトして頂き、今までの通信に代えて頂ければ、と思います。ホームページを見られる環境にない方にはこちらでプリントアウトし、郵送します。（送料は切手にてご負担いただきます。）郵送をご希望の方は同封別紙にて4月中にお知らせください。

以上、ニンカン・ネット予算上の都合ではありますが、どうぞご理解をお願いいたします。

尚、今回寄付の振込用紙を同封させていただきました。今までも通信上に振込先を記載し、ご寄付を募ってきました。ご寄付いただいた方にお礼申し上げます。

今回は最後の同封チャンスと思い、積極的に寄付をお願いさせていただきます。

紙媒体での通信は止めになりますが、ホームページ管理や講座の開催・案内などの代金に充て、なるべく長く「ニンカン・ネット」を存続していきたいと思っています。



編 集 後 記

この数年、すっかり他のメンバーにお任せだった私ですが、たまに顔を出しても、いつも変わりなく受け入れてもらえる大切な居場所です。

みんな本当にお疲れさまでした。ありがとう。これからもよろしく！
(5期 小川けいこ)

最後の通信でしたが、今回はイラストをかいただけで活動に参加できませんでした。

できあがった通信を見てスタッフのみなさんの思いが伝わってきました。スタッフのみなさんありがとうございます。
(5期 榊原葉子)

今回で最後の紙媒体通信。こうしてあらためて過去の通信を並べてみると、何だかとてもいとおしく、そして「少ないメンバーで皆よく頑張ったな」と自画自賛しています。今後はHPを活用して、今まで以上に卒業生の皆さんと繋がっていきたいです。
(5期 林 幸子)

「ようこそPartⅢ」からスタッフになって、早9年、以前よりニカン生っぽくなっているのを自覚しています。

(6期 織田厚子)

ニカン・ネットにかかわってはや12年…感慨深い最終号でした。リニューアルするホームページでも、この手作り感が出せれば嬉しいです。
(6期 古山美保)

以前は通信を三つ折りにするところから始まっていた発送作業。期を超えてわいわい楽しかったです。何らかの形でまた集えますように。
(11期 清水みどり)

通信制作はかつてニカンでの日々を共にした仲間たちへ手紙を書くつもりで行っていました。南短がなくなり、紙媒体での通信も残念ながら最終号を迎えることとなりました。

記事を書いてくださった先生方や卒業生のみなさん、読者のみなさん、ほんとうにありがとうございました。
(16期 杉田純子)

スタッフになって3年目。母さんになって2年目。子どもは遊ぶのも食べるのも寝るのもいつも真剣。見習って私も、「今」を最高に楽しもうと思う。

(25期 佐藤 愛)

◆ Thanks ◆ 挿絵は5期 榊原葉子さんにかいていただきました。また、編集・印刷は尾頭橋印刷所をお願いしました。